

祈りの霊をもって箴言を読むことは、
わたしたちにとっての金塊と宝石となって、
わたしたちのキリストを追い求める生活を強め、
神のエコノミーを完成する

聖書：箴 1:1-7. エペソ 4:22-24. 6:17-18

- I. 箴言は賢い者の言葉の集成したものです（箴1:1-7）。それは人が神と接触することを通して神から受ける知恵を強調し（参照、歴代下 1:10-12. コロサイ 2:2-3. 1:28-29）、また人がどのように振る舞い、人の生活の中でどのように性格を建て上げるかを教えます（参照、ピリピ 1:20. ガラテヤ 6:7-8. 5:22-26）：
- A. 箴言は律法の時代に、おもに二人の王（ソロモンとヒゼキヤ）によって集成されたので、箴言は律法の補助と見なされることができます。
 - B. 律法は神の描写です。そのようなものとして、それは神の民がそれを守ることを要求します。それは、彼らが神の複写とされ、神を表現し、神の栄光を現すためです——参照、ローマ 8:4。
 - C. 箴言は律法の補助として、人がどのように神の属性にしたがって、すなわち、神が何であるかにしたがって振る舞い、どのように自分自身を建て上げるかを教えます。
- II. 箴言にはある特徴があります。すなわち、それは多くの古代の賢い者たちによる知恵の言葉をわたしたちに提示しています。箴言を読むすべての人々は、この書が良いことをみな一様に認めています。しかし、わたしたちが認識しなければならないのは、箴言がわたしたちにとって何であるかは、わたしたちがどのような人であるか、またわたしたちがどのような方法で箴言を受け入れるかにかかっているということです：
- A. もしわたしたちが強い思いを持つ倫理的な人であり、真に道徳的な人として完全でありたいという願いを持っているなら、確かにこの書はわたしたちを助けて、完全さを追い求めることにおいて成功させるでしょう。しかしながら、それは神の霊にしたがってわたしたちの霊の中で生きる人となるよう、わたしたちを助けるのではありません（Ⅱテモテ 4:22. ローマ 1:9. 2:29. 7:6. 8:4-6, 9-11, 16. I コリント 16:18. II コリント 2:13-14. ピリピ 3:3. ガラテヤ 5:15-17, 22-25. 6:18. エペソ 5:18. 6:18）：
 - 1. 旧約において、ヨブは自分の高潔さ、人の完全さを追い求めることで満足していました。しかしそれは、神が彼から求めていたものではありませんでした。むしろそれは、神が彼から求めていたものに置き換わり、神の敵となってしまう、神によって創造された人としてのヨブが神の定められた御旨を完成するのを妨げました。
 - 2. 神の定められた御旨は、ヨブが神を獲得して、神の栄光を現し、神を表現することでした。神に対する最高の奉仕は、わたしたちが神を極みまで獲得し

て、神で満たされ、神を表現して、神の栄光を現すことです——ピリピ 3:7-8, 12. イザヤ 43:7. I コリント 6:20. 10:31. 参照、ヨハネ 17:1。

3. 神が人を創造したことにおける定められた御旨は、人に神を獲得させて、人が神で満たされて神の表現となることであって、人の完全さを表現することではありません。ですから、人の完全さにおけるヨブの成功は、神によって取り壊されました。そして神は入って来てヨブにご自身を啓示して、ヨブが追い求め、獲得し、表現すべきものが神ご自身であることを示しました——ヨブ 42:1-6. 10:13. エペソ 3:9. ピリピ 3:14. II コリント 3:18. 4:16-18。
- B. わたしたちは箴言に来るとき、わたしたちの霊の中で祈ることによって、思いから霊に向きを変える必要があります (エペソ 6:18. ルカ 18:1. コロサイ 4:2)。わたしたちがこのようにして箴言に来るなら、新しい人によって御言に触れるようになります。そして、わたしたちが生きる生活は、天然の人、古い人、自己によるのではなく、わたしたちの霊の中に生きているわたしたちの命またパーソンである主イエスによるのです (II テモテ 4:22. ヨハネ 6:57, 63. エレミヤ 15:16)。
- C. わたしたちは自己修養を拒絶し、旧創造の中にある天然の人を建て上げることを罪定めしなければなりません (参照、マタイ 16:24. ローマ 6:6. ガラテヤ 2:20)。そして新創造の中にある再生された人として (エペソ 4:22-24. II コリント 4:16)、その霊と共にあるわたしたちの霊を活用して、祈りの霊の中で言葉と接触することによって、箴言に来なければなりません。それによって、箴言の言葉は、わたしたちにとって霊また命となります (ヨハネ 6:63. マタイ 4:4. エペソ 6:17-18)。
- D. わたしたちは新約の信者として、箴言が神の聖書における聖なる言葉の一部分であることを信じるべきです。詩篇の作者は、「わたしはあなたの戒めに両手を挙げて、それを愛し」と言います (詩 119:48)。神の言葉にわたしたちの両手を挙げることは、わたしたちがそれを熱心に、喜んで受け入れ、それに対してアーメンと言うことを示すことです (ネヘミヤ 8:5-6)。
- E. 箴言は神の息であって、わたしたちが吸い込んで、神から命の供給を受けるためです。聖書は神の息吹き出したものです。わたしたちがどの節でもすべての祈りによって読むとき、このように祈り読みすることは、わたしたちが神の息を吸い込むこととなります——II テモテ 3:16. エペソ 6:17-18 :
 1. 箴言のすべての言葉は、神の息吹いたものです。それは完全にキリストの中に具体化されています。わたしたちは箴言を読むとき、神が息吹き出したすべてのもの、神が息吹いたすべてのものを吸い込む必要があります。わたしたちは箴言の中の神聖な息を吸い込むことによって、語る神の息を受ければ受けるほど、ますますキリストを享受します——II テモテ 3:16. ヨハネ 20:22。
 2. イスラエルの子たちは、戒め、おきて、規定を守るように命じられましたが、今日わたしたちはキリストを保持する必要があります。わたしたちは、キリストを取り入れ、キリストを保持し、キリストにしっかり結びつくことによ

って、彼を獲得し、彼を享受し、彼を生きます。わたしたちはキリストを愛し、キリストを保持し、キリストを教え、キリストを着て、キリストを書く必要があります——申 6:1, 5-9. ピリピ 3:9. 1:19-21 前半。

3. 聖書は神の息吹いたもの、神の息吹き出したものである（Ⅱテモテ 3:16）、わたしたちはすべての祈りによって（エペソ 6:17-18）、箴言を含む神の言葉を受け取ることによって聖書を吸い込むべきです。わたしたちは聖書を教えているとき、神を人の中へと吹き込んでいくべきです。

F. わたしたちは箴言を、わたしたちの霊の中で神の豊満をもって満たされることによって（エペソ 5:18-19. 3:19）読むべきです。さらに、新約の命の霊の中で（ローマ 8:2）、わたしたちの再生された霊をもって（ローマ 8:16）、祈りとわたしたちの読むことをミングリングして（エペソ 6:17-18）、言葉を霊また命とミングリングすることによって箴言を読むべきです（参照、ヨハネ 6:63）。

Ⅲ. 神のエコノミーによれば、金塊のような、箴言の原則や、宝石のような、箴言の細則は、わたしたちが古い人を建て上げるためではありません。そうではなく、それらは、わたしたちが新しい人を建て上げ、キリストを追い求めるわたしたちの生活を強めて、神のエコノミーを完成するためです。この事は、キリストのからだを生み出し建造して、神の心の願い、また究極の目標である新エルサレムを究極的に完成します：

A. わたしたちは祈りの霊をもって、神の生きていて効力がある言を受け取る必要があります。それによって、わたしたちは、わたしたちの新しい人を建て上げることができ、またわたしたちの霊と魂を識別することができます——ヘブル 4:12：

1. 敵の戦略は常に、わたしたちの霊と魂を混合することです。わたしたちの最大の問題は、わたしたちの混合です。わたしたちは、神の光、臨在で満たされることによって神を認識すればするほど、ますます能力よりも純粋さを尊ぶようになります——マタイ 5:8. ルカ 11:34-36. 詩 119:105, 130。

2. そのような混合を除き去る方法は、聖霊の啓示を通してです。魂と霊を切り離すことは、神の言葉がわたしたちを照らし、わたしたちの内側で輝いて、わたしたちの心の思考と意図を明らかにするときに起こります——詩 36:9. I ペテロ 2:9。

3. わたしたちが神の言葉から、神の照らしの下で見るとは何であれ、光によって殺されます。クリスチャンの経験における最大の事は、光から来る殺しです。魂と霊を切り離すことは、照らしから来ます——イザヤ 6:1-8. 使徒 9:1-4. 13:9-10。

4. 啓示とは、神が見ているものを見ることです。それは、神がわたしたちの目を開いて、わたしたちの意図、またわたしたちの存在の最も深みにある思考を、神が見ているように見せることです。神がわたしたちの思考を暴露し、わたしたちの心の意図をわたしたちに見せるとすぐに、わたしたちの魂は、わたしたちの霊から分離され、切り離されます。

5. 祈り読みすることなしに、箴言は単に格言の集成にすぎません。しかし、わたしたちが祈りをもって箴言を読むとき、すなわち、箴言を祈り読みするとき、わたしたちの祈り読みすることは、すべての格言を、わたしたちにとって霊と命の言葉とならせます。

B. わたしたちは文字を守る者としてではなく、神を尋ね求める者として箴言に来るべきです。わたしたちは、心を尽くして神を追い求める者、神の御顔の表情を懇願することによって神の恩恵を求める者、神の御顔を自分の上に輝かしてくださるよう神に求める者、神の臨在の中を歩く者であるべきです——詩 27:8. 105:4. 119:2, 10, 58, 135, 168. II コリント 3:6.

IV. エペソ第4章22節から24節がわたしたちにはっきりと告げていることは、キリストにある信者には二人の人（古い人と新しい人）がいるということです。古い人はわたしたちの天然の誕生を通してアダムに属しており、新しい人は新しい誕生、再生によってキリストに属しています。わたしたちは、古い人を脱ぎ捨てて新しい人を着る生活をする必要があります。神のエコノミーによれば、箴言はわたしたちの古い人を修養し建て上げるためではなく、わたしたちの再生された新しい人を修養し建て上げるために用いられるべきです：

A. 神のエコノミーにしたがって箴言の内在的な意義の中へと入るために、わたしたちは新創造にしたがって生きている人たちである必要があります（ガラテヤ 6:15）。旧創造はアダムにあるわたしたちの古い人（エペソ 4:22）、わたしたちの生まれながらの天然の存在であり、神の命と神聖な性質を持っていません。新創造はキリストにある新しい人であり（24節）、その霊によって再生され（ヨハネ 3:6）、神の命と神聖な性質が造り込まれており（36節. II ペテロ 1:4）、キリストをその構成要素としており（コロサイ 3:10-11）、新しい構成となっている、わたしたちの存在です。

B. わたしたちの霊の中には、驚くべき、すばらしい、手順を経た、すべてを含む、七倍に強化された、命を与える霊がいます（ピリピ 1:19. 啓 4:5. 5:6. I コリント 15:45. II コリント 3:6. ローマ 8:16）。わたしたちが霊を活用して、神の書かれた言葉の中で（ヨハネ 10:35）神の生ける御言としてのキリストと接触するとき（ヨハネ 1:1. 5:39-40）、彼はその霊としてわたしたちに適用された神の言葉となります（エペソ 6:17-18）。そのとき、わたしたちが聖書の中のどの言葉を読んでも、それはわたしたちにとって霊と命となり、わたしたちを復興します（ヨハネ 6:63）。

C. わたしたちは聖書を、自己修養し、天然の人を建て上げるよう教えているように見える書から、実際には光、命、霊、霊的な養いに満ちている書へと変える必要があります。それは聖書を祈りの霊とその雰囲気の中で受け取ることによってです。このことはわたしたちの自己を取り壊し、わたしたちの天然の人を砕いて、わたしたちに三一の神の究極的に完成された霊を供給します。

V. わたしたちは次のような人とならなければなりません。それは、自己の完全さではなく、主を愛してキリストを追い求め（参照、ピリピ 3:3-14）、全聖書の主の

言葉を愛し、祈る霊をもってそれを読み、文字の教理ではなく、命の霊と言葉を
尋ね求める（参照、ヨハネ 5:39-40. IIコリント 3:6）人です。わたしたちは箴言
を、自己修養の助けを得るためではなく、わたしたちの霊を養うために読むべき
です。それはわたしたちが、神聖な属性の表現である神聖な美德において完全で
あるクリスチャン生活をするためです（ガラテヤ 5:22-23. マタイ 5:5-9）。

©2020 *Living Stream Ministry*